



みんなの「なんな-の?」を伝えるこども記者のための新聞(毎月1回発行)



信毎こども記者ニュース

発行/こども記者クラブ(信濃毎日新聞地域活動部) 〒380-8546 長野市南県町657 TEL.026-236-3110 FAX.026-236-3193

no.15

信毎こども記者クラブは8月10日、「ハロー! ジャカルタ・まんが教室」を長野市にある信毎本社で開きました。先生は、インドネシアの首都ジャカルタでこどもから大人までが通うまんが学校を開いているまんが家の茶花ほこさん(43)です。県内のこどもたち18人が参加して、まんが学校やインドネシアについてのお話を聞いた後、まんがのかき方を教わりました。茶花ほこさんは、みんなからの質問にも熱心に答えてくれました。*まんが教室のことをこども記者たちが8月22日付「信毎こども新聞」で伝えています。



こども記者がインタビュー!

まんが家やケーキ屋さん、新聞記者...さまざまな将来の夢を持つこども記者たちが茶花ほこさんに取材した一問一答を紹介します。

みんなで記念撮影!



信毎長野本社1階ロビーに展示していた、インドネシアのこどもたちがかいたまんがを解説してくれたよ



まんがのかき方を茶花ほこさんが実際に教えてくれたよ



サインをもらったよ!



教えて、茶花ほこさん!

茶花ほこさんの



Q. まんが家になるためにはどうすればいいですか?

A. 3つあります。①まんがをたくさん読むこと。こんな効果(表現の仕方)を使っているんだというのわかります。②いろいろな経験をすること。キャラクターの感情は、自分が体験しないとかけません。③たくさん練習すること、です。

Q. どうしてまんが家になろうと思ったんですか?

A. まんがが好きだからです。まんが家はつらいこともあるけど、かいていると幸せです。

Q. 茶花ほこさんに教わっているインドネシアの子はなんでこんなにうまくかけるんですか?

A. 小さい時から、日本のまんがやアニメを見て育っていて、まんが、アニメがとても好きだからです。頭の中に絵のイメージができあがっているの、かき方を教わると、うまくかけるんです。

Q. まんが家に体力は必要ですか?

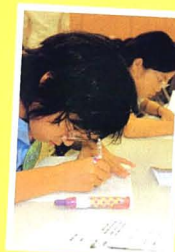
A. 体力より集中力です。

Q. なんで「茶花ほこ」さんというのですか?

A. ギャグまんをかいていたので、5年間アシスタントをさせてもらったまんが家の先生がギャグっぽい名前を付けてくれました。



←この人が本物の茶花ほこさん。笑顔がとてもステキな人です。インドネシアの伝統的な染め物「バティック」(ろうけつ染め)の布を、スカートとして巻いていたよ!



人物画のアングルレッスンに挑戦中!



それぞれの布をまわって個人指導もしてたよ



Check it! 茶花ほこさんは、日曜日の信毎こども新聞のページで毎月1回、「ハロー! ジャカルタ」コーナーを担当しています。今月は29日にのります。読んでみてね!

茶花ほこさんからのメッセージ

マンガ = キャラクターを描く
色々な体験をして、自分の気持ちをマンガにぶつけると下書きがそしたらきっと面白い作品がかけるよ。

茶花ほこ 2010

茶花ほこさん直伝!



人物画のアングル レッスン

アングル(見る角度)を工夫することで、人物に動きが出るよ!

正面

正面から見た時



小山奈乃実記者

☑ 耳は目線と同じ高さ

◎ 人物の感情にあわせて、吹き出しのカタチも変えてみよう!

アオリ

下から見た時



小山あさひ記者

☑ 目の位置を弓のように上げる
☑ 耳は目線より下の位置に
☑ 鼻と口の位置を高くする

フカン

上から見た時



伊藤麻音記者

☑ 目線を下に下げる
☑ 耳は目線と同じ高さ
☑ 首はかかない

